

2024～

支援プログラムのご紹介

放課後等デイサービスPEACE

放課後等デイサービス PEACE





子ども達に夢を与え、実現に向かって

お子様の将来、日常生活や社会生活を豊かなものであり、円滑に営めるようにするために総合的な支援を目指します！！

健康・生活（本人支援）

健康状態の把握・改善、基本的生 活スキルの取得

来所時に接触検温を行い、体調（精神面も含め）に変化がないかを確認しています。体調が優れない場合は個室に移動し、面談を実施し、個々のペースを考慮しながら療育を進めています。



ADLスキルの取得、向上

日常生活の中で生活リズムを整える事が最も重要だと考えています。十分な質の高い睡眠、栄養を考えた食事、排泄を身に着ける方法の支援を行います。食事の面では食育に力を入れ、農作物（サツマイモ、ジャガイモ、タマネギ、ニンジン・きゅうり・トマト・ナスなど）の栽培、収穫を行うことで食べ物の生産過程を知り、感謝する気持ちを大切にします。

農耕作業で収穫した農作物はお子様と調理実習を行い、調理する楽しさや、達成感を味わうことで、食べ物を提供する喜びを実感できる行事を実施します。食育を通して食に関する知識を身につけることだけでなく、食事マナーの向上に努めてまいります。正しい食事マナーを学ぶことで、食事をより楽しい時間と感じられる支援を行います。

運動・感覚（本人支援）

個々の特性を活かし、苦手な事へのアプローチ

成功体験を積み重ね、 自己肯定感をUP

日常生活動作に繋げながら、正しい身体の使い方、姿勢の保持、基礎体力、柔軟性を身に付けられるよう取り組んでいます。具体的には、より細かい手先の動きへの発達を促すことで食事や学習場面での困りごとを改善したり、身体全体を動かす運動と机に向かって集中する課題をプログラムに組み込むことにより、集中しづらいお子さまでも課題に集中しやすい取り組み等を行っています。また、運動療育の中で成功体験を積み重ね、自己肯定感を向上させたり、他者との協調性を学ぶ機会の提供、精神面へのアプローチ等の目的も含んでいます。

感覚の偏りが身体の使い方、情緒、集中力等に影響している場合もあります。感覚へのアプローチを行うことにより、そういった困りごとの解消や機能の向上を図ったり、お子さまが持つ感覚の特性に合わせて環境を整える等の適切な支援を提供しています。お子さまの発達に合わせた適切な支援を提供するため、さまざまな専門職が連携し専門的な視点からプログラムを組み立て実践しています。



認知・行動（本人支援）

空間や物の概念形成を促し、適切な距離や行動の習得

個々の特性に応じての個別学習をする部屋を分け、集団療育(運動・音楽療育・ソーシャルスキルトレーニング)の場所を固定化しています。スケジュールや活動内容等は視覚的に分かりやすい形(絵・写真カード、文字、時計カード)で提示しています。先の見通しを提示し、タイムタイマーやキッチンタイマー等を用いています。イレギュラーな事への対応する力を身につける為に日頃の支援内容に少しの変化を取り入れ、対応力向上に向けたトレーニングを積み重ねています。

考えや想いを共に整理し、次の行動へ

日々の生活の中でトラブルがあり、原因や相手にどう伝えるかなどの辛さを抱えているお子様がいらっしゃいます。まずは職員との信頼関係を構築し、話やすい場所、時間を提供します。自己理解を深め、気持ちや考えをアウトプットし、ご本人が理解しやすい形で(見える形)提示します。困り事に対しての原因を共に模索し、具体的な対処方法へ導き、次の行動に結びつける支援をします。(ソーシャルスキルトレーニング、個人面談等)



SHOP
TAX
FREE

言語・コミュニケーション (本人支援)

言葉の理解、表現力(言語表出)等のコミュニケーション能力向上



言葉のキャッチボールで伝わった時の嬉しさを感じる

お子様が理解している言葉を活かすために言語表出する機会を増やすための支援を行います。言葉の理解だけでなく、思い、場面、状況に合わせて言葉をまとめ、伝える取り組みを行っている。また、特性に応じて言語で伝える事が苦手であったり、声の出し方が分かりにくいお子様に関しては様々なツール(絵カード(PECS等の意思疎通カード)・アイコンタクト・ジェスチャー等)を用いて、お子様が分かりやすい方法に合わせて、自身の考え、思いを表出して相手に伝える取り組みを行っています。

身近な言葉の中ではまず、挨拶からだと思います。言葉として伝える事が難しくても違った形で相手に伝える事は出来ます。また、相手とのコミュニケーションが成立する事は伝わった嬉しさ、相手の気持ちがあった時の喜びは人間関係を構築していく中でもとても、重要な部分だと思います。人と関わりを持つ事で自然と会話する流れになります。楽しく、その人らしく、普段の生活の中で自然と言葉と関わりを持つような取り組みを目指します。

人間関係・社会性 (本人支援)

アタッチメントの形成 生きていく力

何気なく過ごす中で自身の得意な部分、苦手な部分を知る事や認める、受け止める経験をします。また、出来る事を増やし、他者に受け止めてもらえる経験を積み重ね、安心出来る信頼関係性を構築して行きます。徐々に人との関わりへ広げ、人や状況に応じて柔軟に対応出来る力を育てる支援を行います。些細な事にも気づき、寄り添う事、共有する事で生きる力に繋がると思います。

集団への参加から社会的マナーの取得

特性や発達段階等に応じて、一人遊びからルールを守る共同遊び(小規模集団)へと支援を行います。集団療育(音楽療育・運動療育・SST)では違いの気づき、譲り合いなどの自分の感情や行動をコントロールする自律力を育てるように働きかけます。また、実際にあったトラブルを聞き取り、仲間と意見交換し、解決策を見つける取り組みも行っています。

日頃の療育の成果を評価する場を設け、公共施設、公共交通機関の利用を体験し、ルールに伴って行動出来ているかなどの現状把握と確認も行っています。



家庭支援・移行支援・地域支援

**ご家庭での悩みや不安を親身に聞き取り、
必要な支援方法、解決策を提供**

気軽にご家庭でのご様子、困り事等を聞き取りを行っています。ご家族の方の不安、負担を軽減する為のサポートを行い、少しの変化を見落とさない為に日々、健康面(食事・睡眠・運動・排泄)や精神面(情緒的・知的・社会的)の情報収集、共有を取り組んでいます。ご家族の方の意向を踏まえ、安定した関係を配慮し、お子様がより豊かに育っていただける支援を目指します。

**ご家庭や関係機関との連携を図り、
次のステージへ**

お子様が支援の輪の中心となり、ご家庭、地域、通われている学校、障害福祉関係、医療機関、就労先等の関係する機関と連携を図ります。少しの気づきを活かすためにも常に情報収集、共有を行うように努めます。お子様のライフステージに応じた切れ目のない一貫した支援を今もこれからも行う事でお子様の将来が輝かしくものになると思います。先の見通しを立てる事でお子様の未来へと繋がり、ご本人が地域で自分らしく生きていける事やご家族の方が安心して繋がると考えています。

出来るだけ多くの場面で多くの成功体験を経験し、自尊心や好きな事を見つけ、好きな事の幅を広げて育つように個々の課題を具体的に把握し、自信を持って地域にも馴染める機会を設け、療育を進めます。



事業所名

放課後等デイサービスPEACE

支援プログラム

作成日

令和7 年

1 月

23 日

法人（事業所）理念		<p>①明るく、楽しく、元気よくをモットーに安全、安心を第一に考え、第二の居場所として心が和むアットホームな環境づくりを目指します。</p> <p>②発達過程や障害特性を活かし、ご本人様とご家族様の意向や願いを軸に必要とする専門機関と連携を図り、一人一人に合ったプログラムを作成し、提供します。</p> <p>③職員は利用者様が日常生活における基本的な動作を取得し、集団生活の場では仲間との関係をスムーズに構築出来るように努めます。職員も楽しみ共に学び、出来た時の喜び等を分かち合い、将来の自立に向けてのサポートを全力で行います。</p> <p>④日頃から地域の方と積極的に交流し、気軽に立ち寄れる環境づくりを目指します。また、地域活動にも参加し、貢献できる取り組みを努めてまいります。</p> <p>⑤日々感謝の気持ちを忘れず、互いに思いやる心で「ONE FOR ALL、ALLFOR ONE」自分にしかできない役割を見つけ、仲間が困っている時に助け合い、チームとしても取り組みます。</p>	
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> ・障害特性を理解し、一人一人のニーズに合った支援を行う。 ・一人一人の精神面、身体面、ご家庭や学校等での状況を把握し、小さな気づきも見落とさないように努め、その情報を踏まえ、放課後等デイサービス計画に基づく適切な支援を行う。 ・常に環境や体制整備等を行う。 ・PDCAサイクルによる適切な事業所の管理を行う。 ・放課後等デイサービス評価のアンケートを実施し、その評価を統計し、支援の質の改善を図り、結果や改善点等を報告する。 ・随時、関係機関や保護者との連携を図り、適切な情報共有を行う。 ・職員等の知識・技術の向上の為に必要な研修等、積極的に参加する。 ・専門的な知見も踏まえたより質の高い支援や、地域ニーズを踏まえた支援を行う。 ・積極的に社会参加（地域交流）が出来る環境を構築し、スムーズに移行できるように取り組む。 ・閉鎖的にならず、外部に開かれた透明性の高い事業運営を行う。 ・保護者様の負担を軽減するために開業時間、曜日等、調整を行う。また、相談しやすい環境を整備し、提供する。 	
営業時間		平日 9時00分～18時00分 休日（祝日・お盆・年末年始を除く） 9時00分～18時00分	送迎実施の有無 あり なし
支 援 内 容			
健康・生活	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・体調（精神面も含め）に変化がないかを確認します。体調が優れない場合は個室に移動し、面談を実施し、個々のペースを考慮しながら療育を進めます。 ・日常生活の中で生活リズムを整える事が最も重要だと考えています。十分な質の高い睡眠、栄養を考えた食事、排泄を身に着ける方法の支援を行います。 ・農耕作業で収穫した農作物はお子様と調理実習を行い、調理する楽しさや、達成感を味わうことで、食べ物を提供する喜びを実感できる行事を実施します。 <p>食育を通して食に関する知識を身につけることだけでなく、食事マナーの向上に努めてまいります。正しい食事マナーを学ぶことで、食事をより楽しい時間と感じられる支援を行います。</p>	
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活動作に繋がながら、正しい身体の使い方、姿勢の保持、基礎体力、柔軟性を身に付けられるよう取り組みます。具体的には、より細かい手先の動きへの発達を促すことで食事や学習場面での困りごとを改善したり、身体全体を動かす運動と机に向かって集中する課題をプログラムに組み込むことにより、集中しづらいお子さまでも課題に集中しやすい取り組み等を行います。 ・運動療育の中で成功体験を積み重ね、自己肯定感を向上させたり、他者との協調性を学ぶ機会の提供、精神面へのアプローチ等の目的も含んでいます。 <p>感覚の偏りが身体の使い方、情緒、集中力等に影響している場合もあります。感覚へのアプローチを行うことにより、そういった困りごとの解消や機能の向上を図ったり、お子さまが持つ感覚の特性に合わせて環境を整える等の適切な支援を提供します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お子さまの発達に合わせた適切な支援を提供するため、さまざまな専門職が連携し専門的な視点からプログラムを組み立て実践します。 	
本人支援	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の特性に応じての個別学習をする部屋を分け、集団療育（運動・音楽療育・ソーシャルスキルトレーニング）の場所を固定化しています。スケジュールや活動内容等は視覚的に分かりやすい形（絵・写真カード、文字、時計カード）で提示します。 ・先の見通しを提示し、タイムタイマーやキッチンタイマー等を用いて実施します。 ・イレギュラーな事への対応する力を身につける為に日頃の支援内容に少しの変化を取り入れ、対応力向上に向けたトレーニングを積み重ねます。 ・困り事に対しての原因を共に模索し、具体的な対処方法へ導き、次の行動に結びつける支援をします。（ソーシャルスキルトレーニング、個人面談等） 	
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・お子様が理解している言葉を活かすために言語表出する機会を増やすための支援を行います。 ・言葉の理解だけでなく、思い、場面、状況に合わせて言葉をまとめ、伝える取り組みを行います。 ・特性に応じて言語で伝える事が苦手であったり、声の出し方が分かりにくいお子様に関しては様々なツール（絵カード（PECS等の意思疎通カード）・アイコンタクト・ジェスチャー等）を用いて、お子様が分かりやすい方法に合わせて、自身の考え、思いを表出して相手に伝える取り組みを行います。 ・人と関わりを持つ事で自然と会話する流れになります。楽しく、その人らしく、普段の生活の中で自然と言葉と関わりを持つような取り組みを目指します。 	

	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・何気なく過ごす中で自身の得意な部分、苦手な部分を知る事や認める、受け止める経験をします。 ・出来る事を増やし、他者に受け止めてもらえる経験を積み重ね、安心出来る信頼関係を構築して行きます。 ・徐々に人との関わりへ広げ、人や状況に応じて柔軟に対応出来る力を育てる支援を行います。 ・特性や発達段階等に応じて、一人遊びからルールを守る共同遊び（小規模集団）へと支援を行います。 ・集団療育（音楽療育・運動療育・SST）では違いの気づき、譲り合いなどの自分の感情や行動をコントロールする自律力を育てるように働きかけます。 ・実際にあったトラブルを聞き取り、仲間と意見交換し、解決策を見つける取り組みを行います。 ・日頃の療育の成果を評価する場を設け、公共施設、公共交通機関の利用を体験し、ルールに伴って行動出来ているかなどの現状把握と確認も行います。 	
	家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・気軽にご家庭でのご様子、困り事等を聞き取りを実施します。 ・ご家族の方の不安、負担を軽減する為のサポートを行い、少しの変化を見落とさない為に日々、健康面（食事・睡眠・運動・排泄）や精神面（情緒的・知的・社会的）の情報収集、共有を取り組みます。 ・ご家族の方の意向を踏まえ、安定した関係を配慮し、お子様がより豊かに育っていける支援を目指します。 	移行支援 <ul style="list-style-type: none"> ・希望に応じて、近隣のこども園、幼稚園と交流する機会を設けます。 ・就学されている学校、就労先と連携を図ります。
	地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の公共施設を利用し、地域資源を活用します。 ・地域の行事等（お祭り、クリーン作戦、各福祉イベント等）に参加します。 ・在籍の学校、福祉サービス等と連携を図り、情報共有を行います。 	職員の質の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・外部研修を年2回以上 ・感染症に関する研修及び訓練 ・安全管理に関する研修（応急手当、防犯、交通安全、事故防止等） ・自然災害や感染症発生時における業務継続計画に関する研修、訓練 ・児童の特性に応じた対応、支援方法の研修
	主な行事等	<p>全体行事：お花見・放課後等デイサービス事業合同行事（4月）こどもの日（5月）あじさい祭り（6月）七夕会・プール開き（7月）児童館巡り・夏祭り（8月）お月見会・運動会・BBQ（9月）芋ほり大会・ハロウィンパーティー（10月）秋祭り・焼き芋大会（11月）クリスマス会・餅つき大会・忘年会・大掃除（12月）餅つき大会・とんど焼き（1月）節分会・バレンタイン会（2月）雛祭り・卒業パーティー（3月）</p> <p>定期行事：個別面談（7・3月）（随時）防災想定訓練（10月・3月）防災学習（1月・3月・8月）</p> <p>毎月行事：お誕生日会・調理実習・遠足</p>	